

商品・サービスの提供に関する取り組み

当社は、お客さま第一を実践するため、「真にお客さまの視点にたった商品・サービスの実現」に取り組んでいます。

運用商品の提供に関する基本方針

当社は、2018年1月以降、当社が提供する運用商品に関する基本的な考え方として、同方針を公表しています。

運用商品のご提供に関する基本方針(骨子)

高い品質	～お客さまの中長期的な資産形成に資する商品を提供します。
有益な情報	～お客さまに安心してファンドを保有していただくための有益な情報提供・資料作成を行います。
適切な運用報酬	～お客さまへのサービスに見合った合理的な水準を設定するとともに、既存商品における運用報酬の見直しを行います。
明確な分配方針	～商品ごとの分配方針を明確にし、お客さまによって異なる分配ニーズに見合った商品を提供します。

- ・公募投信を新規設定する際は、商品ごとにお客さまに提供する価値を明確にし、販売対象として想定するお客さまの属性を特定するなど、上記方針の各項目の充足状況をチェックしたうえで設定可否を判断しています。
- ・市場環境の変化やパフォーマンスのモニタリング状況等を踏まえた運用報酬の見直し、お客さまが誤認することのない透明性の高い費用開示に向けた改善など、品質の維持や向上に努めた商品・サービスの実現に取り組んでいます。
- ・「GQGダイナミック・ハイクオリティ株式ファンド」を2026年3月に設定しました。当ファンドは、将来の業界動向や5年以上の業績見通しから、質の高い銘柄を厳選して投資します。独自の「フォワードルッキング・アプローチ」で銘柄を選定し、変化に柔軟に対応しながら、グローバル株式の中長期的な成長を享受することを目指すファンドです。



投資信託説明書(交付目録見書)
使用開始日: 2026年3月12日

GQGダイナミック・ハイクオリティ株式ファンド
(資産成長型) / (予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

- 本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目録見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目録見書)を含む詳細な情報は右記の委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には信託約款の主な内容が含まれていますが、信託約款の全文は投資信託説明書(請求目録見書)に掲載されています。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、右記の照会先までお問い合わせください。

●委託会社

ファンドの運用の指図を行う者

SOMPOアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者: 関東証券局長(登録)第351号

設立年月日: 1988年2月25日

資本金: 1,550億円

運用する投資信託財産の合計資産総額: 2,403,950億円(2025年11月末現在)

●照会先

ホームページ: <https://www.sompo-am.co.jp/>

電話番号: 0120-69-5432

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

●委託会社

ファンドの募集の促進及び販売を行う者

三菱UFJ信託銀行株式会社

投資目的に応じた投資信託のご案内

当社の公募投資信託商品をより深くお客さまにご理解いただくことを目的に、「投資目的に応じた投資信託のご紹介」を公表しています。

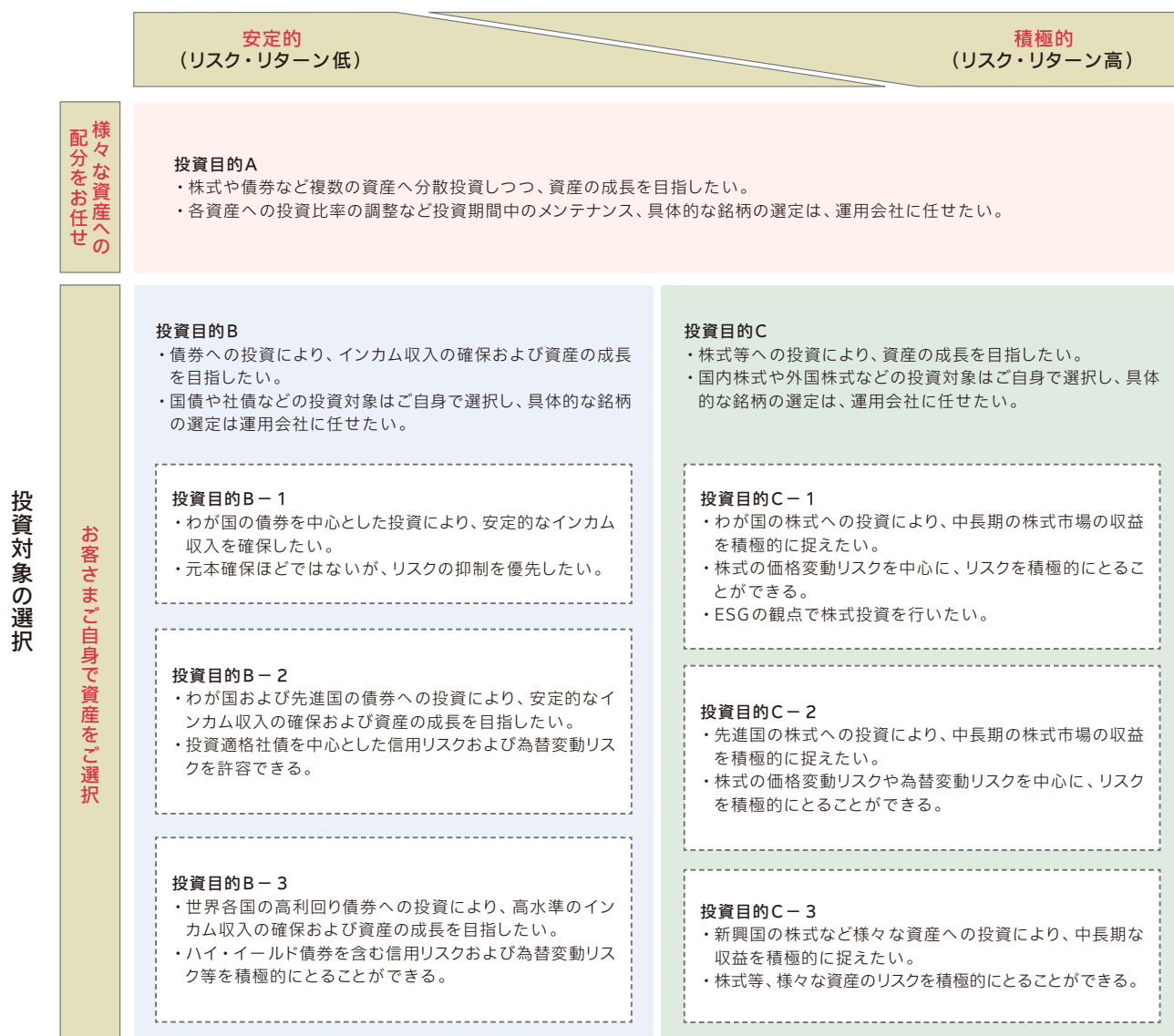
「投資目的に応じた投資信託のご紹介」のポイント・考え方

- ▶▶▶ 当社は、お客さまの様々な運用目的に沿った商品の企画を行い、幅広いラインアップの投資信託をご提供しています。
- ▶▶▶ 当社は、「お客さまの資金には、積極的な運用ができる部分と安定的な運用を求める部分など、様々な性格がある」と考えており、それぞれの投資目的に応じた投資信託商品にご投資いただきたいと考えています。
- ▶▶▶ なお、当社は、中長期的にご投資いただくことを基本として、全ての公募投資信託商品をお勧めしています。

【投資目的区分編】

ご投資にあたっては、下記ホームページ(投資信託のお申込みに際しての留意事項)をご確認ください。
<https://www.sompo-am.co.jp/attention/risk.html>

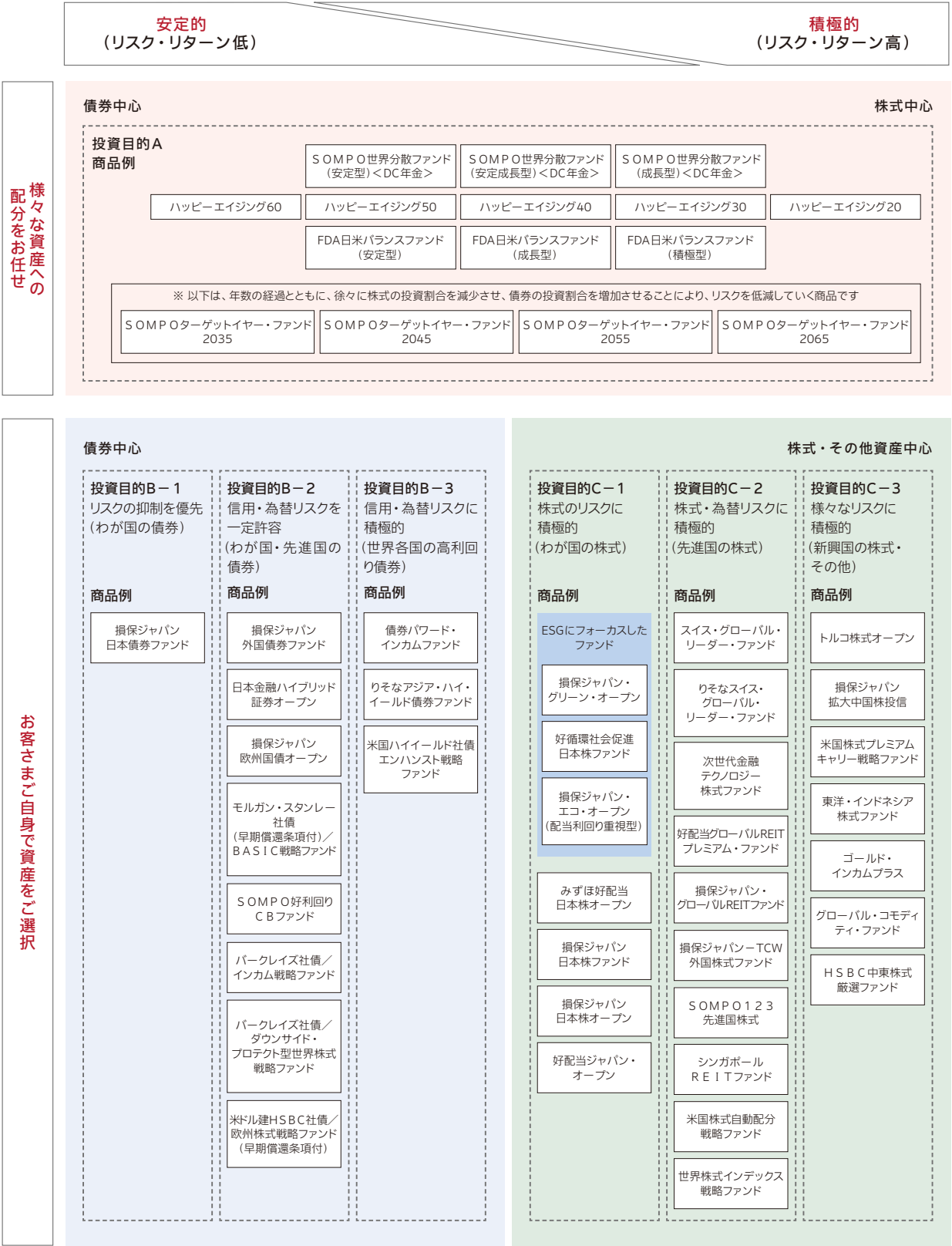
投資対象のリスク／リターン



【個別商品編】

ご投資にあたっては、下記ホームページ(投資信託のお申込みに際しての留意事項)をご確認ください。
<https://www.sompo-am.co.jp/attention/risk.html>

投資対象のリスク/リターン



投資対象の選択

お客さまご自身で資産をご選択

(注) 上記は投資目的に応じたファンドを選択いただくための2026年5月時点のイメージです。投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

本資料では当社が組成した全ての公募投資信託商品を網羅しておりません。購入申込期間が終了している商品なども参考として記載しています。

また、個々の商品については、正式名称ではなく、例えば「為替ヘッジの有無」や「分配方針の違い」等は一つの商品群としてまとめて記載しています。

金融リテラシー教育

当社は金融リテラシー教育を通じて、個人のお客さまの資産形成推進に資する取り組みを実施しています。

インフレや少子化の進展など外部環境が大きく変化し、「自助による資産形成」に今まで以上に注目が集まっている中、当社の金融リテラシー教育では資産運用方法をはじめ

め、年金、介護など個人の金融リテラシーに必要とされる情報を包括的に提供しています。

資産形成層から、実際に資産を使っていく資産活用層まで、金融リテラシー教育を必要とするすべての世代に向けて投資教育講座やWebコンテンツ等を提供しています。

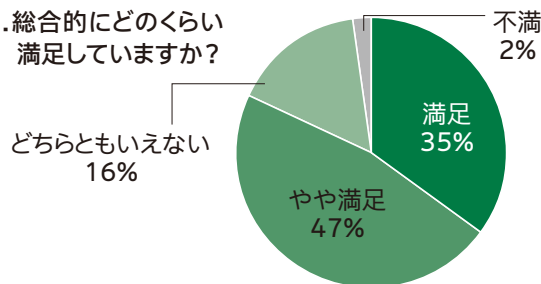
職場における金融リテラシー教育セミナー

当社では企業型DC導入企業に対し、企業型DCの導入時教育、継続教育を補完する目的で、金融リテラシー教育セミナーを提供しています。ライフプランから金融経済・

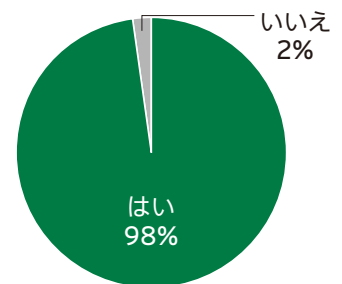
商品の知識、老後の資産活用等、金融リテラシー全般を網羅した内容を企業の要望に合わせて実施しています。

■受講者アンケートより（2025年度実施分）

Q.総合的にどのくらい満足していますか？



Q.今回の講義は、自身の老後資金の準備を始めるきっかけになりそうですか？



資産形成サポート

当社は、個人のお客さまの中長期的な資産形成への貢献を目的として、さまざまな金融商品やサービスを提供しています。

2024年1月に当社が開発した「つみたてかんたんシミュレーション」では、個人のお客さまが、「運用をしながら積み立てる」「運用をしながら資産を取り崩す」という資産運用の効果を手軽に体験していただけます。

このシミュレーションでは、NISAのつみたて投資枠を使い、「ファンド※」、「毎月の積立額」、「積立投資を始める年齢」、「積立期間」の4つの質問にお答えいただくだけで、将来の予想資産額を簡単にシミュレーションすることができます。

取り崩しシミュレーションでは、つみたてシミュレーションで計算した予想資産額を基に、「取り崩しを始める年齢」、「取り崩す期間」にお答えいただくことで、毎月どれくらいの金額を受け取ることができるかをシミュレーションすることができます。

シミュレーションサイトはこちらから

直接アクセス



当社ホームページから

「SOMPOアセット」で検索

↓

当社ホームページから
資産形成アシストをクリック。





※当社公募投信のうち、NISAのつみたて投資枠の対象商品である3ファンド(ハッピーエイジング20、ハッピーエイジング30、ハッピーエイジング40)を対象ファンドとして選定しています。

なお、上記3ファンドを含む「ハッピーエイジング・ファンド」は、ハッピーエイジング20、30、40、50、60の5ファンドからなる、内外の株式・債券に投資を行う、長期・積立・分散投資に適したアクティブ運用のバランス型投資信託です。

年金のお客さま向けの取り組み

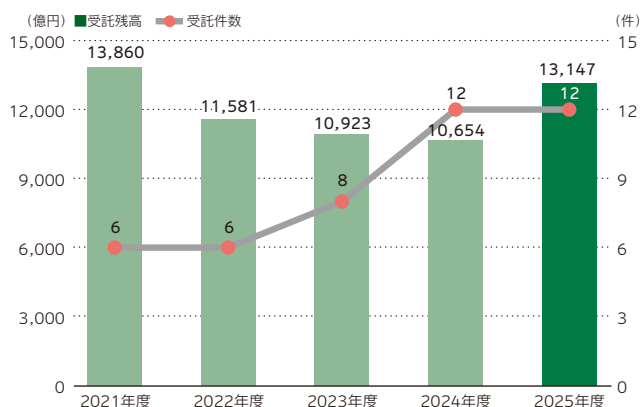
当社は1986年に設立以来、インハウスで運用されるすべての商品は、原則として徹底したファンダメンタルサーチとバリュエーションモデルから生み出される「割安度（アルファ情報）」の有効性に着目した、アクティブ・バリュエーション運用を投資哲学とし国内株式運用のラインアップを増やしてきています。

また、外部委託で運用される商品につきましては、伝統資産とオルタナティブを区分して、年金のお客さま向けの商品の拡充を実践しています。

外部委託で運用される伝統資産の商品は、主に伝統資産の比率が高めの公的年金のお客さまを念頭に外貨建て運用の商品開発を行っており、開発された商品の中で私的年金に流用が可能な商品は、私的年金への展開も行っています。

公的年金先の契約数は2022年度以降上昇基調に転じています。今後、複数の公的年金先へ提供できるよう、エントリー活動を本格化しています。

■ 公的年金受託残高と受託件数



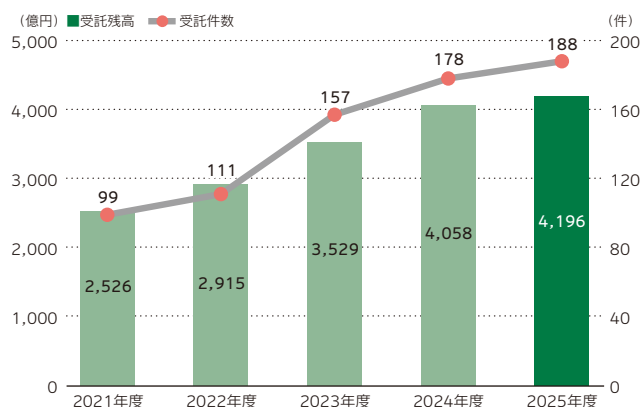
外部委託で運用されるオルタナティブの商品は、私的年金のお客さまを念頭に、他社対比特徴のある品揃えを意識し、お客さまの年金財政やキャッシュフローを考慮したラインアップの拡充に努めています。

当社は、お客さまとのコミュニケーションを重視し、お客さまが設定した期待収益率に基づいた政策アセット・ミックスの変化や運用環境の変化を勘案しながら、お客さまのニーズに即した付加価値の高いサービスを提供できるよう取り組んでいます。

結果として、ご採用いただいた受託件数および受託残高は2025年度末で188件、4,196億円となり、直近3年間で件数ベースでは約69%、受託残高ベースでは約44%増加しています。

おかげさまで、国内投資顧問残高ランキングの私的年金の部で、2021年度末では28位という位置付けでしたが、2025年12月末現在で19位まで上昇しました。

■ 私的年金受託残高と受託件数



課税団体のお客さま向けの取り組み

国内債券の長年の金利低迷から、国内債券以外の運用手法を取り入れる課税団体のお客さまが昨今増えています。当社は、年金の資産運用で培った低リスク運用から高リスク運用の商品を課税ファンドとしてご提供し、お客さまのご意向に沿った商品の開発に努めています。

特に、2024年に内閣官房が資産運用立国の実現に向け「アセットオーナー・プリンシパル」を策定した影響により、国公立大学・私立大学では同プリンシパルを受け入れるとともに、リスクアセットによる資産運用の取り組みも強化しつつあります。

また、大学によっては国際卓越研究大学の認定により、助成される資金の運用についても取り組みを始めています。

一方で財団法人等の課税団体におきましても、従来の運用手法である国内債券運用から、安定的な収益を得やすいオルタナティブ運用への関心が高まっており、課税団体のお客さまにおいても大きく環境が変わりつつあります。

当社では、このような環境変化にもいち早く対応し、あらゆる課税団体のお客さまの幅広いニーズにお応えすべく、直接お客さまとコミュニケーションを行いながら、付加価値の高いサービスができるよう努めています。

運用商品のラインアップ

2026年3月末時点

【国内株式運用戦略】		【外国株式運用戦略】	【外国債券運用戦略】
国内株式アクティブ運用	低ボラ高配当運用	外国株式アクティブ運用	外国債券アクティブ運用
バリュー運用	ラージキャップバリュー運用	グローバル・コア株式運用	グローバル債券運用
日本株インバクト投資戦略	スモールキャップ運用	クオリティ・グロース株式運用	【国内債券運用戦略】
サステナブル運用			国内債券アクティブ運用
バランス型運用／準特化運用			
マルチアセットアロケーション戦略			

※黒字はインハウス運用、白字は外部委託運用、商品組成検討中のものも含む

【ヘッジファンド戦略】	【不動産戦略】	【プライベートアセット戦略】	
■ 株式ロング・ショート グローバル株式 ロング・ショート戦略	■ 国内不動産 国内実物資産投資戦略 私募リート投資戦略	■ インフラストラクチャー 非上場インフラ投資戦略	■ 森林・農地投資 森林・農地投資戦略
■ イベントドリブン イベントドリブン(合併裁定) 戦略 イベントドリブン(アジア)戦略	■ 海外不動産 米国不動産コア投資戦略	■ プライベート・デット 豪州ハイクオリティ・ プライベートデット投資戦略 貿易ファイナンスローン 投資戦略	【保険戦略】 CATボンド戦略 (リスク分散型)
■ クレジット・ロング・ショート クレジット・ロング・ショート 戦略(欧米型)		■ プライベート・エクイティ プライベート・エクイティ・ セカンダリー投資戦略 オープンエンドPE戦略 (レバティブ・バリュー型)	【マルチアセット戦略】 マルチアセット戦略 (4%型)
■ マネージド・フューチャーズ マネージド・フューチャーズ戦略 (トレンド・フォロー型)			
■ マルチ マルチ戦略 (レバティブ・バリュー型) 債券株式 ファクター・ローテーション戦略			

※黒字はインハウス運用、白字は外部委託運用、商品組成検討中のものも含む

受賞歴

直近3年間のファンド大賞を受賞したファンドは以下のとおりです。

イベントドリブン(アジア)戦略 R&Iファンド大賞 受賞(2024年、2025年、2026年)	スモールキャップ運用 R&Iファンド大賞 受賞(2025年)
--	-----------------------------------